

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成	年	月	日
事業所名				
ユニット名				
事業所番号				
記入者名	職名		氏名	
連絡先電話番号				

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念「喜びの輪を広げよう」 独自の理念は「生かされている」感謝の気持ちそして、地域との連携を念頭に理念は「共に生きる</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念は事業所の玄関に掲示して目につきやすい様にしている スタッフルームにも掲示し日々の中で行動の基本としている</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>玄関 リビングなど見やすい場所に掲示している 特に意識した取り組みはしていないが常に理念の基本は職員の頭の中にあると思う</p>	○ 今後は運営推進会議などを通して理念の理解を働きかけていきたい
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩などを通して近所の方と気軽に挨拶したり季節のお花などを頂いたりしている</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>学区の運動会、敬老会、町内のお祭り」、盆踊りなどにも参加している 子供110番の家として玄関を開けている</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	日曜日など公園清掃に参加したりしている 寝たきり状態や介護困難な在宅で困ってみえる方をあえて受け入れている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年一回の外部評価で現行を見直し、新たな支援に取り組めるよう会議やミーティングで話し合っている 自己評価によって改善すべき問題を明確にして「サービス向上を心がける」機会ととらえている		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	管理者が推進会議に参加して利用者へのサービス内容や取り組み状況などを報告している		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長が事業所として取り組んでいる		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉擁護センターのサービスを受けて見える入居者もおられ権利擁護の理解は出来ている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待を経験したことはないが、研修に参加し虐待について学ぶ機会はあるし日頃から身体拘束や虐待になる以前にミーティングや、会議で対策を離している 「身体拘束排除宣言」を掲示し職員の意識化に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	入所時、退所時に管理者が十分な説明を行っている	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	玄関 にご意見箱を設置したり、面会の際はお話をお聞きしたりしている	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	「日吉の郷だより」や機会があれば個々に報告している本人の身体状況、日々の生活など細かく家族に報告していくことを心がけている	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ご意見箱の設置はもとより面会に来て頂いた際には必ずお茶を出しゆっくりお話する時間を取っている	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	毎月のグループホーム会議、毎日のミーティングで意見や考えを出してもらい検討し合っている 月一回リーダーが集まり運営委員会を持っている 音楽療法の電子ピアノを購入するなど職員の希望は出来る限りかなえてもらっている	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	利用者、入居者の状況の変化に伴い必要とする時間帯に職員を確保できるように随時会議で検討しながら勤務時間 お調整を行っている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職や異動時は利用者とお別れ会をしたり十分な説明をして次の職員とスムーズに交代できるように配慮している 利用者はずすぐ忘れてうち解けている		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自治体、協議会などの研修に能力に応じた内容に公費で手当を付けて参加させている又、音楽療法など働きながら学ぶ事への応援も勤務表上行っている 研修の機会があれば積極的に参加している		
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設長が愛知県認知症グループホーム協議会の幹事をしている関係上同業者との連携や交流はあり、そこからの情報や関連の勉強会に参加している		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	盆、暮れ、歓送迎会など会社負担の食事会、飲み会でストレスを発散し日常は狭いスペースだが休憩時間に横になれる場所を工夫して確保した		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎日のミーティング、折々の会議で基本理念に基づいた考えを伝え資格試験に合格したら一万円昇級し工場意欲がもてるように又実績に応じた昇格をしている」		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所当初はマンツーマン対応でお話相手になり、人となりを知るように努めている</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面会の度に家族とゆっくりお話しする時間を取り施設での生活状況、職員の対応、食事やおやつの内容など見て頂いている</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況に応じケアマネージャと相談して対応している ミーティングで話し合っている</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>施設内のデイサービスに通所している方が入所されると職員も馴染みの顔ぶれで安心されていた入所前にご家族と一緒に見学に来て頂き体験入所なども受け入れている 見学に来られる方が多い</p>	<p>○ 四月から共有型デイサービスが始まり通所しながら馴染みの関係を作りグループホームに慣れたところで入所して頂けたらと思っている</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に食事作りをしたり、入居者の介護レベルに応じた「日常の仕事」をして頂き「役に立っている」気持ちを大切にしている 一緒に過ごす時間を大切にしている</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に来て頂いたときには必ず日頃の状況をおはなしして安心して頂くと共に相談できることは素直にさせて頂いている 家族との時間を大切にしている		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	「日吉の郷たより」を定期的に発刊して施設内での出来事ご案内して入居者のことを身近に感じて頂いている		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	美容院など入所以前に通ってみえた方には行きつけの美容院へ送り迎えして級友には出来るだけ遊びに来て下さるようお願いしている		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	正確の似通った方を同じテーブルにしてお話相手になれるように、トラブルにならないように職員が間に入ってコミュニケーションを助けている 音楽療法を通して利用者同士のコミュニケーションを図っている		利用者、入居者同士でのコミュニケーションを援助していきたい
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	施設たよりを通して関係が切れないように連絡を取るようになっている必要時電話する		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>たとえばおやつ時の飲み物など一人ひとりの希望を聞いている 買い物などは個人の好みに合わせて選んでいる</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>情報提供所などから生活歴を把握したり家族から本人の生活習慣などを聞き取りしている</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>ミーティングで表を作成して毎日必ず個別の現状と対策を話し合い対応している</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員の個人差、年齢差など全員がケアプランをたてるのが困難な状況にあるため受け持ち制を取り全員の情報をまとめプランを作成して発表し全員で検討し完成させる</p>	<p>○</p> <p>職員全員がケアプランを作成できるように二人一組となってプランを立て勉強会で発表できるようにしていきたい</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>同上</p>	<p>○</p> <p>現状に即したケアプランの見直しができるように職員のレベルアップを図っていきたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は出来ているそれをケアプランに活かしているように勉強会を行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	「何でもあり」が施設のマottoとしていてる所でもあり時間、規則などで制約されることはない		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	合唱や演奏会、マジック、落語などのボランティアが来て下さり入居者を楽しませて下さっている	○	お話し相手や作品作りの補助などのボランティアの支援を受け入れていきたい
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	実施する意向であるが活用支援を利用する必要性がまだ生じていない		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	独居で身寄りのない方は入居時に権利擁護に依頼して財産管理をお願いしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	連携医の往診が二週間に一回あり緊急時には24時間対応して頂いているし多少の無理も聞いてもらっている		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	連携医との良い関係が築かれていて認知症はもちろんのこと他の相談事にも応じてもらっている		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護職であることと同施設のデイサービスにも複数の看護職が勤務しており医療面では心配はない		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	連携病院、連携医との連絡はいつでも取れる状態で早期退院にもいつでも対応出来る状態にある		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化における指針を作成して入居時に説明をして終末期には家族と十分な話し合いを持ち職員全員に情報と方針が共有できるように毎日のミーティングで話し合い確認を取っている		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期には連携医と看護師に連絡を密に取り 看護師、医師は24時間携帯電話での連絡体制を取っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	本人、家族の希望に最大限答えられるように情報交換を行い、安心して住み替えられるよう家族と相談しながら行っている	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	入居者の性格、生活歴など配慮した言葉かけを行っている 記録物は施設外には持ち出さない。	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	本人の意思を尊重できるような言葉かけをしている 書くことが出来る人には紙と鉛筆を居室に置き欲しい物がメモできるようにしている 「どちらがよろしいですか」など選択して頂くようにしている すぐ決められない場合は時間を空けてお聞きしている	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	本人のペースに合わせた介護を心がけている レクへの参加の声かけも無理強いはいしない 体調や本人の希望になるべく添うようにしている	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ヘアークットは移動理美容が担当 入居前から通っていた美容院への送り迎えをしている</p> <p>理美容、化粧(おしゃれ)などの機会をレクに取り入れている</p> <p>買物会などで出かけるときはおしゃれをして好きな服を買って頂く</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と共に準備（盛り付け）、後片付け（洗いもの、食器拭き）など行っている 味付けの味見などしてもらっている	○	外食の機会を増やしたい
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	以前は喫煙される方が3人みえた施設内は原則禁煙だが職員の目の届く場所に喫煙所を作ってもらった おやつは好きな物を選んでもらっている 夕食後ビールを飲まれる方もみえる		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄確認表で各自の排泄パターンを把握している 夜間のトイレ誘導、介助で個人にあった支援に心がけている オムツは出来るだけ使用しない		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に入浴時間は決めているが個人の希望、都合などを聞いて好きな時間に入浴して頂くように配慮している		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人の状況や希望に応じて集団行動を強要しない 環境整備を心がけ清潔な環境の中で生活して頂けるように努力している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	介護度に合わせて、畑の水まき、食器洗い、洗濯たたみなどの役割を感じて頂いている 年間行事計画を立て、誕生会、遠足、手芸、音楽療法などを楽しんでもらっている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの方がお金の感覚を忘れてしまっているため管理が難しいが使える方には買い物会で使って頂けるよう支援している 大金は事務預かり、小銭のみ所持してみえる方もいる		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「一日に一回は外に出て頂こう」を目標にして散歩に出かけたり全員が散歩に出られないときは近くのスーパーなどへ買い物に出かけたりしている		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	週一回の買い物会や遠足、、又天気の良い日は「花見に行こうか」と急にその時のみんなの気分で決めて出かけたりと予定外の外出など外に出る機会を作るよう心がけている いつも希望の場所に行けているとはいえない		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状をかく方、電話をされたい方には出来るだけ手を出さないで出来ないときだけ支援している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間に制限はなくいつでも訪問して頂けるようにしている 面会の方にはお茶を出し、可能であれば入居者ご自身でだしていただく事もある		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	寝たきり状態の方のベット柵はご家族の承諾書を取って行っている 身体拘束の研修に参加して十分理解はしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>常に職員がフロアにおいて安全に配慮してサービス提供している 夜間巡視3回、音が聞こえたときはその都度確認している 入室時は声をかけている 入浴、は施錠して恥ずかしい思いはさせない</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>介護度に合わせた物管理は毎日のミーティングで話し合っている 縫い針は本数を確認、はさみはすぐしまう 料理の刃物類は入居者の手の届かない場所に置く</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>ふやりハットノートの活用、ミーティングで対策を話し合っている定期的に必要な研修に参加して知識を学び共有している</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>救命救急の講習会への参加 急変時のマニュアルに沿って現状態の報告と対策が看護師から話されている</p>	
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回避難訓練を行っている 施設内の避難経路はマニュアル化されている 地域との連携まで発展していない</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	状態に応じて家族に連絡を取り話し合っている 面会に来て頂いた際には現状を報告してご理解して頂いている	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	各種チェック表を成して体調変化に気を付けている又、異常を感じたときは個々の記録に記入して共有化している	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	個別の服薬処方箋を整理して配薬時確認している	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	排泄記録や個々の記録を確認して便秘が続くときは看護師に報告して下剤の服用をしている 朝の体操、散歩、水分摂取を心がけている	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	毎食後の歯磨き実施 人によってはモンダミンのうがいをしている 寝たきり状態の方は交ケアを行っている	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食べやすいように人によっては刻んだり、お粥を作ったりしている 好き嫌いの多い人は可能な限り好みの物を提供し栄養摂取に努めている 夜はペットボトルで飲みやすいようにお茶を準備する	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員全員検便を行っている 手洗い、使い捨て手袋など使用して清潔には気を配っている インフルエンザの予防注射は会社負担で職員全員施行している		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎曜日別に調理器具、食器の消毒を行っている まな板の漂白、乾燥除菌 食材は毎日配達されるのでかくにんして冷蔵庫へ		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一階はデイサービス二階はグループホーム初めての方にはわかりにくい 整頓され花がいつもキレイ 車椅子、シルバーカーなどが置かれ狭い		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく清潔感のある空間であるように努めている 季節の花を飾り音楽を流している 季節によって部屋ののれんを替えて季節感を味わってもらっている 共有の場所には皆さんで作った作品を季節に合わせて飾っている	○	季節ごとの展示物を取り入れたい
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルは気のあった方同士が楽しくおしゃべりして過ごせるように配慮している 居室では個人の時間をもてるようにしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	朝の換気、湿度、温度計で常に冬22度～23 度、夏27度～28度にするよう配慮している 空調管理	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	共有空間、トイレ、洗面所には手すりを付けて使 いやすくしている 居室は家具の位置を工夫して 転倒を防ぐように配慮している	
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	更衣、入浴、トイレなど介護度に合わせ対応し自 分で出来るようお手伝いする 出来たときには共 に喜び合う 居室前の表札、のれんで部屋を間違えないよう にしている	
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	ベランダに家庭菜園を作り米のとぎ汁など水やり をして野菜を育てることが入居者の楽しみとなっ ている	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・音楽療法を取り入れ、歌や音楽を通して機能訓練の活性化、脳への刺激、心の安定、楽しみながらの笑顔作り、メリハリのある生活作りへと取り組んでいる